

関西地区会開催



平成 27 年 7 月 24 日、ホテル阪急インターナショナルにおいて、第 86 回 JISA 関西地区会例会(代表幹事：萩原章文氏／関電システムソリューションズ(株)代表取締役常務)が開催され、57 名が参加した。

はじめに地区会事務局から、平成 27・28 年度の関西地区会役員に 5 名が選任されたことが報告された。

萩原代表幹事から「マイナンバー制度、電力自由化の対応があり 2020 年の東京オリンピックまで当業界は人不足が予想されるが、JISA の活動を通じて協力し合うことでこの厳しい状況を乗り切っていきたい。」旨の挨拶があり、次いで、JISA 室井雅博副会長から「IT を核として日本経済を更に強くする提案をし、IT 投資の山を動かしていくような付加価値の高い仕事をしていきましょう。」と挨拶があった。

続いて、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課 平山利幸課長補佐から「CPS によるデータ駆動型社会の到来を見据えた変革」と題して新たな情報革命 CPS(Cyber Physical System)社会の実現に向けた施策について説明があった。

次に、JISA 河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(特サビ動態統計、DI 調査)の説明、平成 27 年度の委員会体制や事業活動の概要、日本再興戦略などの報告、JISA 事業や低炭素化社会実行化計画に関する調査への協力依頼があった。

最後に、地区会事務局から平成 26 年度の活動と決算報告、平成 27 年度の活動計画と予算について報告があった。

休憩を挟んで、讀賣テレビ放送報道局 高岡達之解説委員が「ニュースの裏側から“キーワード”で読むこれからの政治・経済」演題で約 1 時間講演した。高岡氏は、ミラノ万博やロボット開発、独自の視点で成功を収めた地方のスーパーマーケットや訪問者や人口を増やしている地域創生の先進的な例などを紹介しながら、ビジネスにおける価値観の重要性について軽妙洒脱に語った。



(赤尾)